

みんなの教育・ふじさわネット 第11回総会と学習会(2019年1月26日)

この夏 小学校教科書の採択

注視し、市民・現場の声を尊重した採択を実現しましょう

みんなの教育・ふじさわネットは、2019年1月26日、藤沢市役所会議室3で学習会と総会を行い、2018年度の活動の総括を行い、2019年度の活動方針を決定しました。(学習会の感想等は裏面にあります。)

活動方針は、①この夏の小学校教科書採択では市民・学校現場の声を尊重した採択を実現、②教育委員会事務局と教育問題について懇談、③教育委員会等の会議を傍聴、教育長・教育委員の人事を注視、④入学式当日の「おめでとうチラシ」の配布、⑤ゆきとどいた教育を求める署名の推進、⑥運動を通じてつながった個人・団体との連携、などを骨子としています。



みんなの教育・ふじさわネット
学習会と第11回総会
藤沢市役所 会議室3 2019年1月26日

教育委員に市民の声を届けよう

小学校「道徳」(2017年)と中学校「道徳」(2018年)の教科書採択では、いくつかの前進がありました。①採択審議委員会のわかりやすい答申(教科書ごとの意見のまとめ)、②学校調査書や市民意見書などの情報の公開(ホームページ)、③音声傍聴、④市民や学校現場の意見を見ての教育委員の議論、⑤教科書展示会の日時の早い公表、日曜開場などが実現しました。この前進は、採択審議委員会や教育委員会を傍聴し、さらに教育委員に声を届けてきた市民の運動があって実現しました。

この夏の小学校の教科書採択に、市民が熱い目をむけ、市民や学校現場の意向を尊重した採択になるよう市民の声を届けることで前進を確かなものにし、さらなる前進を図りましょう。

教科書採択の予想される日程、採択する藤沢市教育委員を右の表に示します。会議を傍聴するとともに、教科書展示会で教科書を見、意見書を書き市民の声を届けましょう。

教科書採択 予想される日程

- 1)教科書展示会
各小学校: 5月下旬~6月上旬
藤沢市役所: 6月
- 2)各小学校長が教科用図書調査書作成・提出: 5月~6月
- 3)教科用図書採択審議委員会
第1回6月、第2回7月
- 4)採択決定の教育委員会
7月下旬から8月上旬

藤沢市教育委員と任期

職名	氏名	任期の終了
教育長	平岩 多恵子	2020年3月31日
教育長職務代理者	飯島 広美	2021年3月31日
委員	中林 奈美子	2019年9月30日
委員	大津 邦彦	2021年9月30日
委員	木原 明子	2022年9月30日

来年(2020年)は中学校の教科書採択

育鵬社(いくほうしゃ) NO!

今年(2019年)新しい学習指導要領にもとづく中学校の教科書検定が行われ、来年の夏、採択が行われます。藤沢市は、2011年と2015年、学校現場の意向(教科用図書調査書)ではほとんど支持がなかった育鵬社の歴史と公民の教科書を採択しました。

今年の小学校教科書採択で、より公開された採択、より民主的な採択を実現し、来年の中学校教科書採択での前進につなげましょう。

学習会『子どもたちによい教科書と豊かな学力を』

第11回総会の前に学習会を行い、『子どもたちによい教科書と豊かな学力を』のテーマでお話いただきました。

教育出版小学校6年生社会科教科書の2000年版と2018年版を読み比べ、国旗や国歌の扱いが変化していることなどが具体的に示され、示唆に富むものでした。

寄せられた感想からいくつかを紹介します。



話題提供の杉本克彦さん(元小学校教師)

講演(おはなし)とてもよかった。教科書にそった具体的な話しで参考になった。松本代表の話しに始まった全体が大変だと思う。しかし、一つ一つできるところから運動し続けるしかないと思う。運動を続ける力は、今日のような勉強会で得る「知の力」を加えることの大切さをあらためて実感した次第です。

本日はありがとうございました。「君が代」の解釈のすり替えの所は、本当に恐ろしいと思いました。きちんと歴史理解を深めていかないと現状に流されてしまうので、学習を重ね、考えていきたいと思います。

現場を離れて10年が経ちました。学力テストをはじめいろいろな仕事が増えて(ムダな?)このままではますます教職員の多忙はなくなりません。特に気になったのは、職員室で教職員同志の会話ができないということです。(子どもの共通理解ができない)(職員室が楽しくない)正規教員のみならず、非正規教職員もかなり不足状態らしく、教頭先生が授業をしなくてはならないところもあるようです。教科書採択についても何らかの取り組みを広げ子どもを持つ親御さん達に情報を伝えなければいけないとつくづく思います。微力ながら共にならばりましょう。やっぱり選挙ですね!

職員室の様子、空気を思い描いた時、子ども達の教室の空気につながってしまっている。子どもをめぐるいろんな問題に直結しているように感じました。先生方、親、地域、大人の状況が良くならなければ、子どもも変わらないと思います。政治が「人間」をどう考えるか、だと思いました。ありがとうございました。

最後の対抗軸は、学力が「役立つ」論か、「発達論」かというところだと思います。話しあいがあったかったです。すべての項目に、話しあいが今後の運動に必要だということをつくづく感じました。

実現! 「新入学学用品費」 中学入学前に支給

「小・中学生の就学援助家庭に、新入学児童生徒がいる場合、支給している「新入学学用品費」を、中学校については、今年から入学前に支給することとし、小学校6年生の時、時期としては1月末ごろに支給するよう変更します。小学校入学については、今年は従来どおり、入学後の支給となりますが、現在、入学前支給に向けて検討を行っているところです。」

(教育長の窓No171 2019年1月)

上記は、藤沢市教育委員会のホームページにある平岩多恵子教育長の文章からの引用です。

市民の要望が一つ実現し、前進しました。粘り強い運動の一つの成果です。

本田由紀さん講演会
変容する社会に生きる
若者と教育・仕事
不安を抱える若者に共感しながら
変革の芽は?その可能性は?
2019年5月12日(日) 13:30~16:00
藤沢市民会館第2展示ホール
資料代 500円

☆若者に寄り添い
変革の可能性をと
もに探りましょう。
ご参加ください。